

平成30年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について  
～滝川市立小学校、中学校の体力の状況等～

滝川市教育委員会

## 1 調査の概要

- (1) 実施期間 平成30年4月から7月末まで
- (2) 調査の対象学年 小学校第5学年、中学校第2学年の全児童生徒
- (3) 調査の内容
- ① 児童生徒に対する調査
- ア 実技に関する調査
- (ア) 小学校の調査種目  
[8種目] 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ
- (イ) 中学校の調査種目  
[8種目] 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、持久走/20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ハンドボール投げ  
(※持久走か20mシャトルランのどちらかの選択が原則だが、両方実施した生徒もいる。)
- イ 運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査
- ② 学校に対する児童生徒の体力向上に係る取組等に関する質問紙調査
- (4) 参加状況(悉皆調査) 小学校6校 中学校4校
- (5) 参加児童生徒数

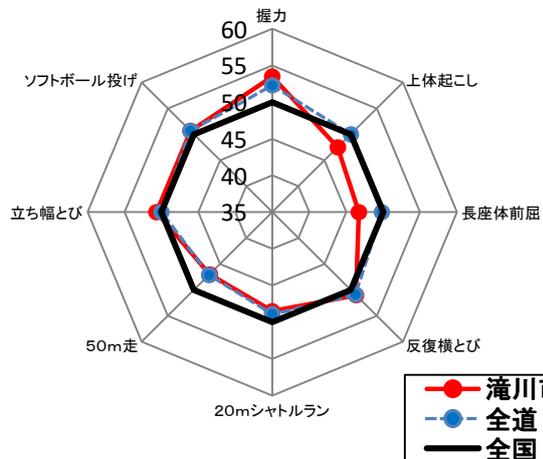
	小学校第5学年					中学校第2学年			
	学校名	対象児童数	参加者数	未実施数		学校名	対象生徒数	参加者数	未実施数
	滝川第一小	35	35	0		江陵中	111	109	2
	滝川第二小	61	61	0		明苑中	130	130	0
	滝川第三小	62	62	0		開西中	46	46	0
	西小	47	47	0		江部乙中	15	15	0
	江部乙小	15	15	0					
	東小	80	80	0					
	計	300	300	0		計	302	300	2
	参加率	100.0%				参加率	99.3%		

## 2 滝川市立小学校の状況及び体力向上策(学校数:6校、児童数:330名)

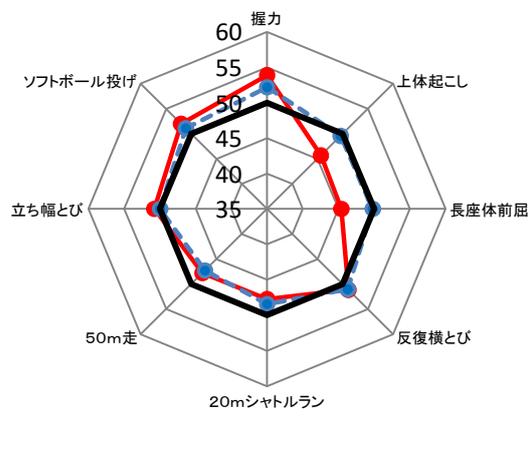
### 【各種目の状況】

全国を50とした時の偏差値(T得点)をレーダーチャートで表示

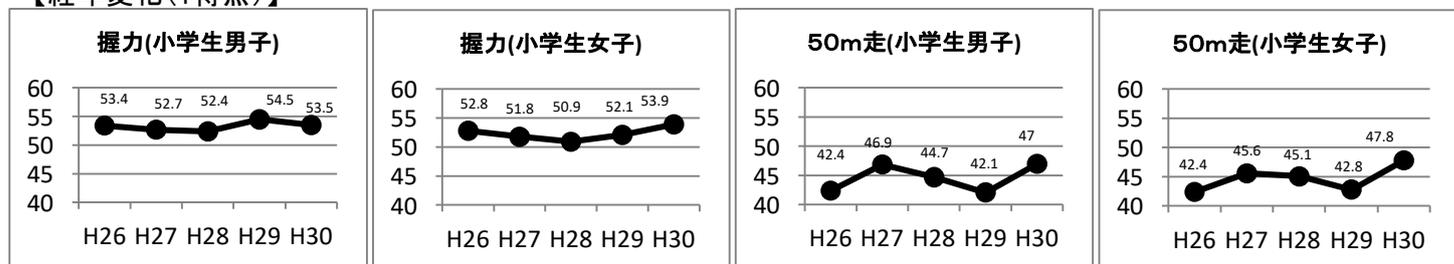
#### <男子>



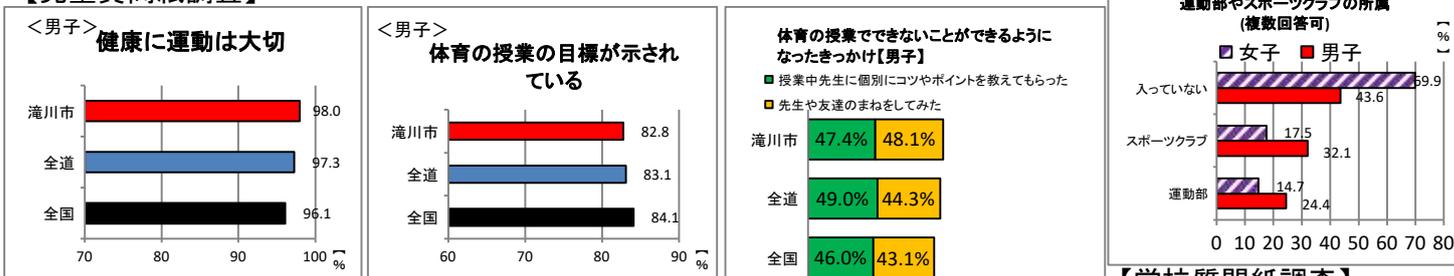
#### <女子>



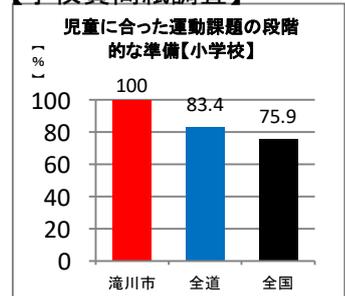
### 【経年変化(T得点)】



### 【児童質問紙調査】



### 【学校質問紙調査】



### 【分析】

実技	○男女ともに、「握力」「反復横とび」「立ち幅とび」「ソフトボール投げ」では全国平均を上回っている。 ○50m走に関しては、全国平均には及ばないものの、男女ともに全国との差は縮まってきた。
児童質問紙	○男女ともに「健康に運動は大切」という回答が全国平均を上回ったり、近くなっており、運動することの必要性について認識していることが分かる。しかし、男女ともに運動部やスポーツクラブに所属している児童が少ないことが分かる。 ○男女ともに、授業で目標が示されていると回答した割合が高いことから、見直しをもって学習に取り組むことができていると判断することができる。 ○男子は授業中に先生や友達の手助けをすることを通して、女子は友達に教えてもらうことを通じて、課題を解決しようとする児童が多い傾向にある。この傾向から、運動課題の解決には、友達との交流が有効であることが分かる。
学校質問紙	○「児童の実態に応じ、運動課題を段階的に準備している」と回答した学校は全国平均を上回った。このことによって、児童は、自分で練習内容や場を選んで活動していると考えられる。

### 【滝川市の体力向上策】

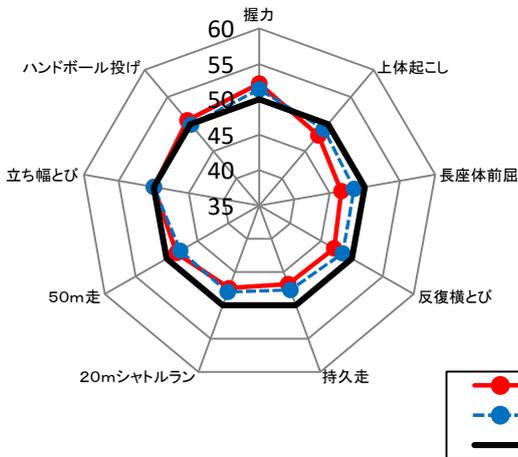
- ◎目標を明確に示すとともに、その時間で何ができるようになり、どのような課題が残ったかを「振り返る活動」を位置付けた体育授業の実施。
- ◎滝川市教育振興会による体力向上事業の継続実施。特に課題となっている「走力」「持久力」に焦点化した取組の推進。
- ◎体育協会及び各種スポーツ団体によるスポーツ大会等の開催に係る支援及び学校と連携した出前授業の推進。
- ◎アダプテッドスポーツの出前授業の継続実施。

### 3 滝川市立中学校の状況及び体力向上策(学校数:4校、生徒数:310名)

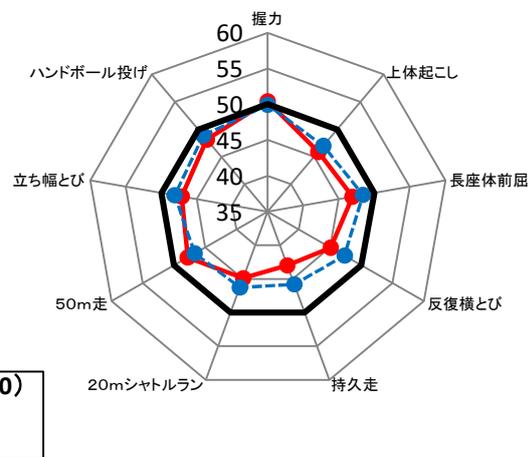
#### 【各種目の状況】

全国を50とした時の偏差値(T得点)をレーダーチャートで表示

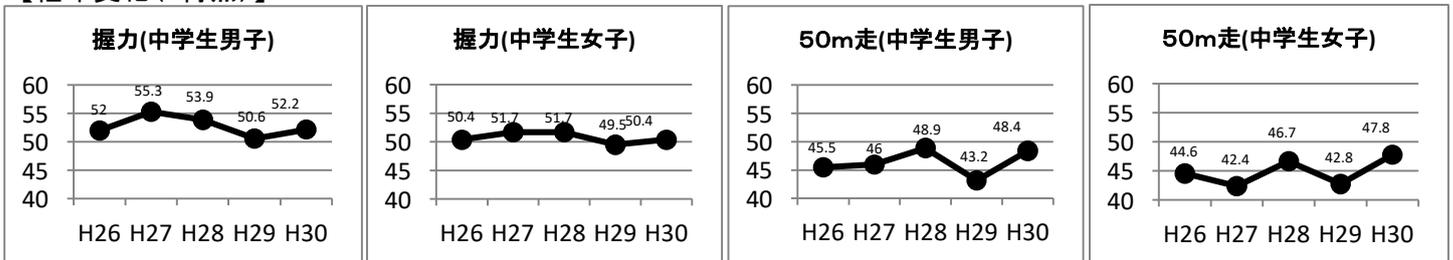
#### <男子>



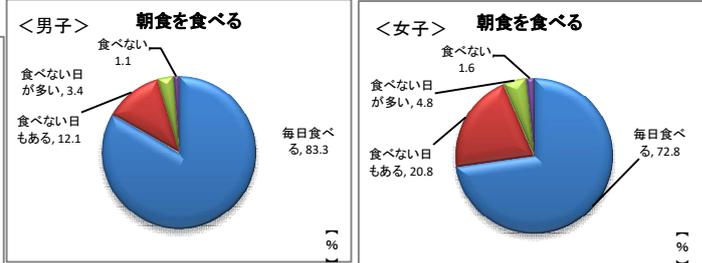
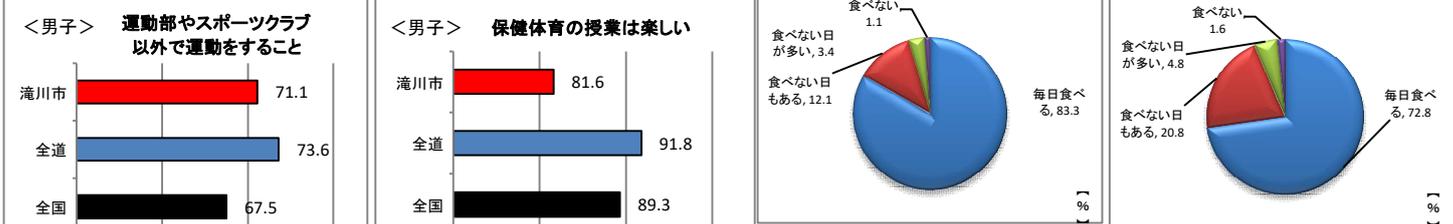
#### <女子>



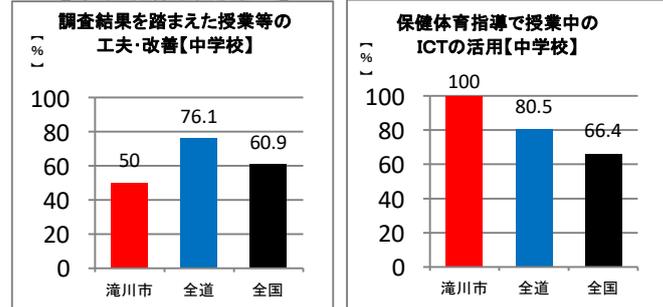
#### 【経年変化(T得点)】



#### 【生徒質問紙調査】



#### 【学校質問紙調査】



#### 【分析】

実 技	○男子の「握力」「ハンドボール投げ」、女子の「握力」では、全国平均を上回っている。 ○50m走に関しては、全国平均には及ばないものの、男女ともに全国との差は縮まってきた。ただ、「持久力」は依然として課題であることが分かる。
生徒質問紙	○男女ともに「運動部やスポーツクラブ以外で運動をすること」が全国平均を上回ったり、近くなったりしていた。スポーツや運動への意識や意欲が高いことが分かった。しかし、男女ともに「保健体育の授業は楽しい」という回答が全国平均を下回っており、各学校において生徒の興味関心を高める授業を実践することにより、保健体育の授業への意識が改善されると思われる。 ○「朝食を毎日食べる」と回答した男子は83%となっており、この数値は全国平均を上回っている。一方で、女子は75%を下回っており、全国平均を下回っている。女子については、4人に1人が朝食をとらない日があるなど、食生活の不安定さが見られる。
学校質問紙	○「保健体育の指導で、授業中にICTを活用している」と回答した学校が全国平均を上回った。このことから、生徒は自身の動きを撮影できる環境下で課題を明確にしながら学習を進めることができたと考えられる。

#### 【滝川市の体力向上策】

- ◎「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の結果を踏まえた体力向上に向けた取組の推進
- ◎目標を明確に示すとともに、生徒同士で話し合う活動を位置付けた保健体育授業の実施。
- ◎滝川市教育振興会による体力向上事業の継続実施。特に課題となっている「走力」「持久力」に焦点化した取組の推進。
- ◎体育協会及び各種スポーツ団体によるスポーツ大会等の開催に係る支援。